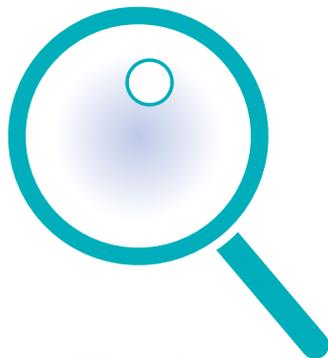




一般財団法人 橋梁調査会

Japan Bridge Engineering Center



あなたも橋梁ドクターを  
目指しませんか？



# ABOUT

## 一般財団法人 橋梁調査会

一般財団法人 橋梁調査会（J\_BEC）は、橋梁に関する技術、経済、環境その他の問題についての調査研究、知識の普及を行い、橋梁事業の円滑な発展を図ることによって、国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として設立された法人です。

営利法人である株式会社等と異なり、施設管理者や施設利用者に対するサービスの提供が第一目標です。

そのため、橋梁に対して、あるいは業務に対して、橋梁技術者としてこだわりをもった仕事をすることができます。



# 私たちの業務について

### 橋梁診断業務

橋梁診断員として、自ら現地にて診断に必要な情報を収集したうえで、橋の性能評価を行います。また、道路管理者の最終的な措置判断や意思決定のための支援を行います。

### 新技術導入促進

橋梁調査会は国土交通省道路局と連携して新技術の活用に必要な技術基準類の検討や技術の実証を行うための導入促進機関となっています。

橋梁の点検支援技術に求められる要求性能（リクワイヤメント）を検討し、技術の公募を行っています。応募技術に対し、各種試験を行って性能を確認し、点検支援技術性能カタログの作成支援を行っています。

### 道路施設点検データベース

点検や記録といった関連する業務の効率化・省力化に寄与するため、橋梁の諸元と点検結果を蓄積する道路橋データベースの管理・運営を行っています。データベースで扱うデータは、道路管理者の利便性向上だけでなく、学術的な分野でも活用されています。

### 点検技術者の育成

道路橋点検の実務に積極的に携わろうとする意欲的な技術者を募集し、「橋梁定期点検要領」の習得を目的とした「道路橋点検士技術研修会」を定期的に開催しています。また、道路管理者向けに道路橋点検技術講習会を同時開催しています。

### 自治体支援業務

地方自治体の抱える橋梁のメンテナンスをはじめとした様々な課題に対し、健全度判定の助言、現地調査・現地研修での助言、措置が必要な道路橋に対する対策方針に関する助言などを実施しています。

## そのほかに実施している業務

### ● 橋梁技術の開発・収集・普及

- 橋梁技術に関する研究開発助成を行っています。
- 橋梁に関する国際会議等に参加し、最新情報の収集を行います。
- 橋梁シンポジウムなど橋梁技術に関する講演会を開催しています。



## 橋梁調査会の強み・特徴

# 橋梁調査会について

### 橋梁のプロフェッショナル集団

橋梁調査会はその名のとおり、社会インフラのなかでも道路橋に係る技術に特化したプロフェッショナル集団です。国は、社会インフラの維持管理を点検－診断－措置－記録といったメンテナンスサイクルの確立を掲げていますが、橋梁調査会は特に診断に強みを発揮する集団です。

### 資格保有者

プロフェッショナルを自任するには研鑽を積まなければならない部分も当然ありますが、未取得者は現有職員でフォローしていきます。

77  
名

技術士

6  
名

工学博士

94  
名

道路橋点検士

6  
名

米国連邦道路庁 (FHWA)  
公認橋梁検査員

### 資格の運営 (道路橋点検士制度)

橋梁調査会では、「道路橋点検士」資格の運営を行っています。この資格は、国が管理する橋梁を点検するために必要な「登録資格 (公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格)」に該当します。



### 高いワークライフバランス

職員の平均有給休暇取得日数は12日です。月平均所定外労働時間は7時間ですが繁忙期に偏る傾向があります。

夏期休暇は取得対象期間中 (6～10月) に最大7日間取ることができるので、有意義な休暇がとれます。

月平均  
所定外労働時間  
(前年度実績)

8時間

2023年度

平均休暇  
取得日数  
(前年度実績)

19日

2023年度



## 橋梁調査会の魅力

1

国内トップレベル  
**技術力**

業務の性格上、技術士またはRCCMを保有している職員は8割を超え、対外的に客観的な高評価をいただいています。

2

国土を維持する  
**社会性**

業務は道路管理者とのコミュニケーションを図りながら進めて行く機会が多く、管理者の考え方を理解することで高い社会性が身につきます。

3

企業にはない  
**安定性**

高い技術力と社会性によって、安定的な企業運営が継続できています。



# 若手技術者の1日

東北支部 **西森 功紀**  
(入社1年目)

## 【経歴】

普通科の高等学校を卒業後、地元の点検会社へ入社。その後、建設コンサルタント会社での設計業務、高速道路グループ会社での維持管理業務に従事したのち、橋梁調査会に入社。

## 【志望動機】

正直なところ、診断業務がどのような内容かハッキリとは分からないまま、希望しました。以前から橋梁の維持管理には興味があったことや、国民全員が必ず使う「国道」に携わりたかったというのが本音です。



## 現地調査

- 08:30 現地 KY 活動に参加  
(点検会社と合同)
- 09:00 現地診断開始
- 15:30 現地診断終了
- 16:30 ホテルにて診断日報作成



## デスクワーク

- 09:00 出社、メールチェック
- 09:30 提出された点検調書を確認
- 12:00 お昼休み
- 13:00 診断所見の記入
- 15:00 不明な点をアドバイザーに質問
- 17:30 退社



## 知識を増やし、経験に活かす毎日

経験豊富な先輩方が多く、なんでも優しく教えてくれます。私は1月に入社し、コンクリートの劣化機構や、部材に求められる機能など、基本的なところも多く聞いてしまいましたが、丁寧に教えて頂きました。

現地診断では、机上とは違い、時間の制約もあり、慌ててしまいます。しかし、一緒にいた先輩が時間はあるので慌てなくていいと行ってくださり、雑談も交えて頂いたので、緊張がほぐれた状態で現地診断に取り組むことができました。

まだ何もできておりませんが、若手として、担当した橋に対する当事者意識、責任感、それから好奇心は持つように心がけています。

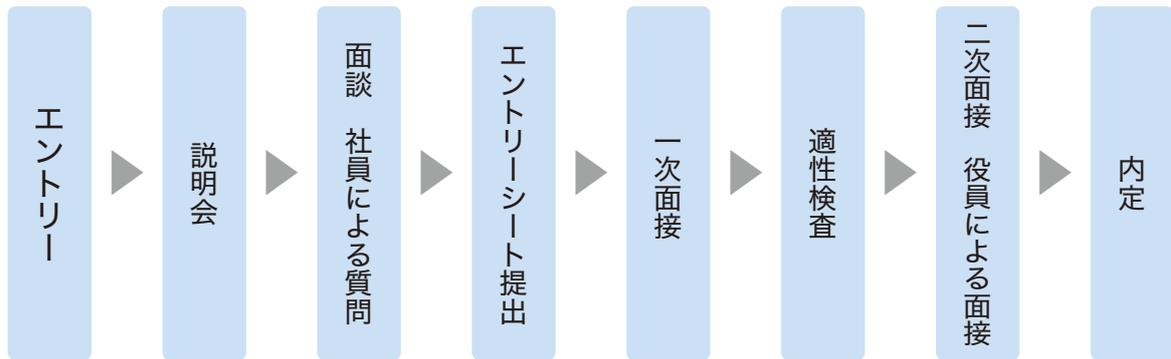
橋梁調査会は橋梁ドクターが8割以上を占めており、敷居が高く感じるかもしれませんが、私のような人もこれから増えていくと思います。偉大な先輩方を独り占めできるチャンスは今しかないかもしれません。もしよかったら一緒に聞いて回りたいです。



## 応募方法・選考

橋梁調査会を知るところから、橋梁ドクター候補となるまでの流れです。

「橋梁ドクター」という呼称は業務上使用しませんが、その役割を直感的にお伝えするために表示しているものです。

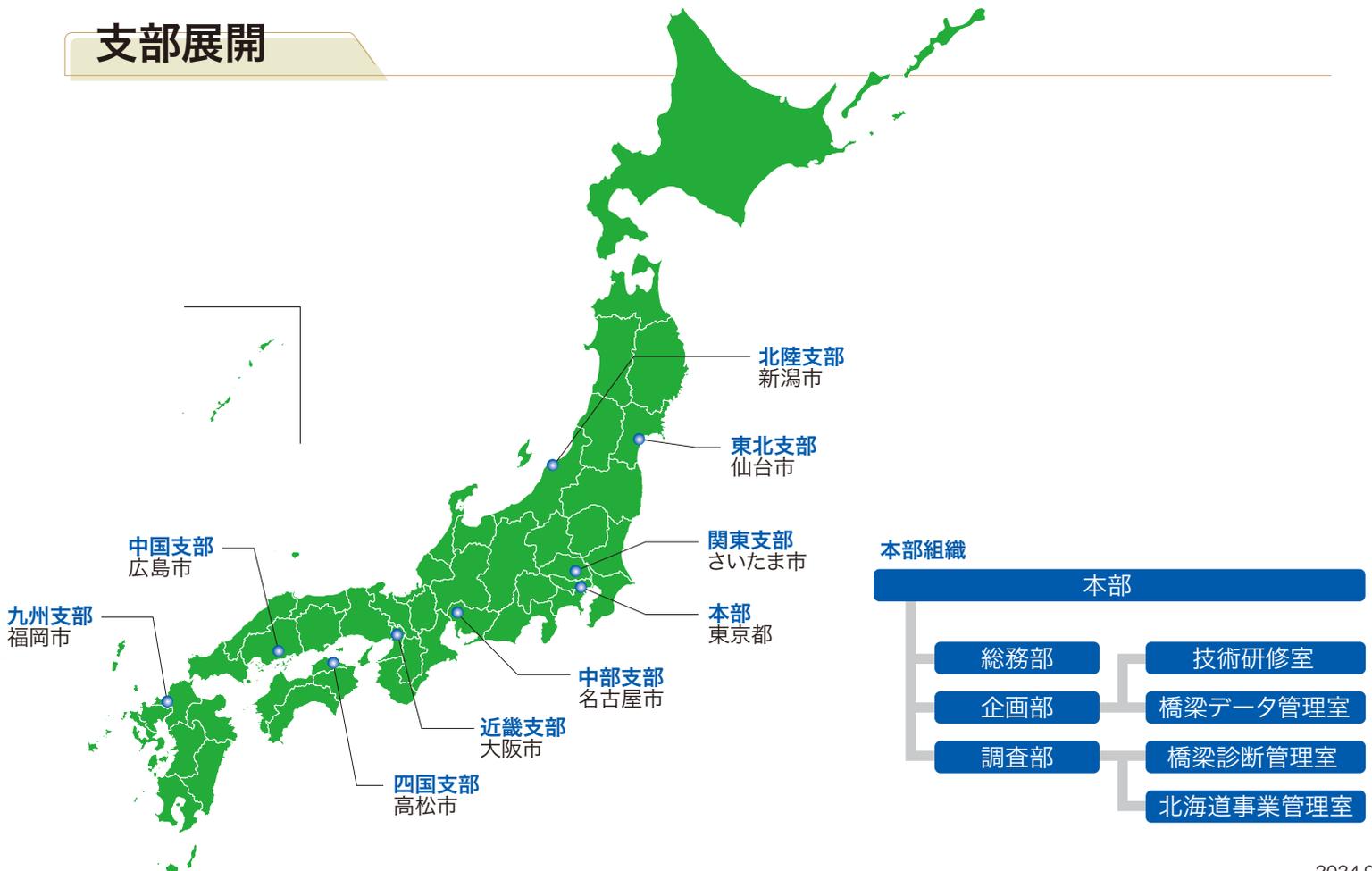


## 当財団の概要・福利厚生

従業員	136名
設立年月日	1978年4月3日
資本金	1億円
売上高	32億7千万 (2024年3月31日決算)
主な取引先	国土交通省・地方自治体

休暇等	年次休暇20日(4~3月) 夏期休暇7日(6~10月) 季休暇 7日(6月~10月) 各種特別休暇
その他	宿舍借り上げ(人事異動を伴う場合) 資格取得の支援(受験料、登録料、更新料) 奨励金・報奨金 慶弔見舞金等(慶弔見舞金、人間ドック補助、医療費補助)

## 支部展開



2024.9